

管理ツールで Active Directory サイト内の接続先サーバ名を変更する

・内容

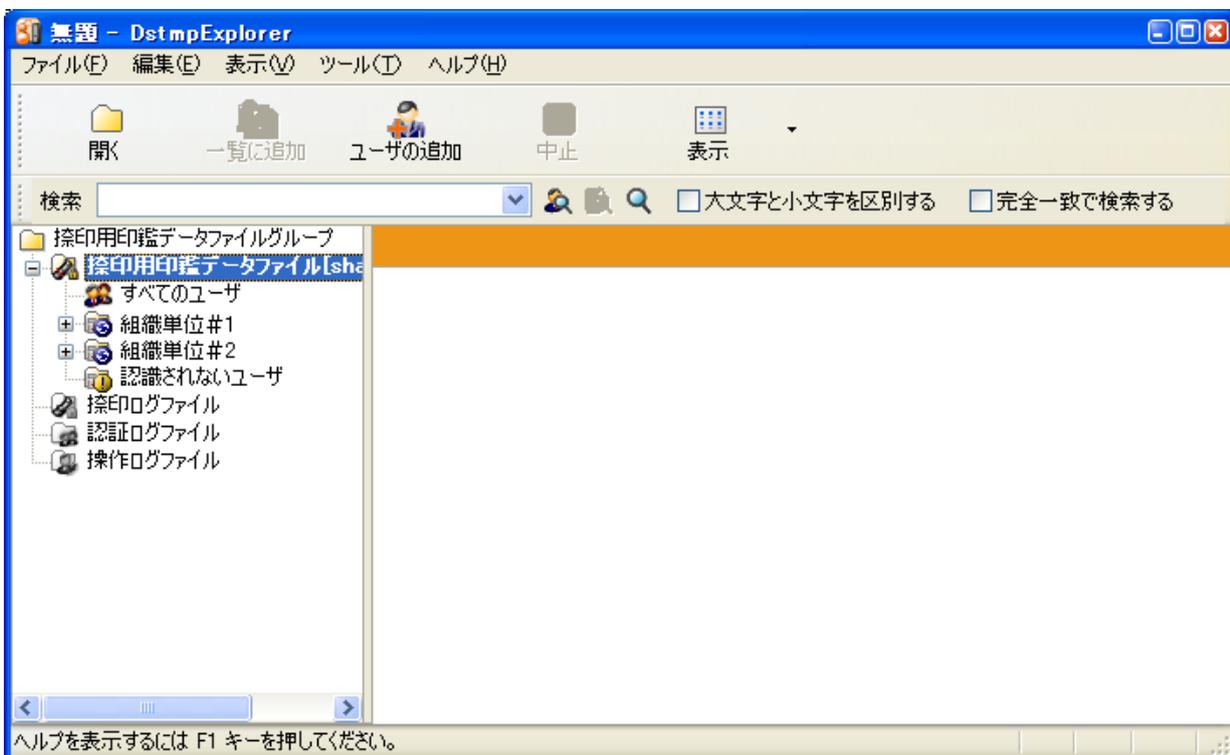
[パソコン決裁 6 管理ツール Advanced Edition] を利用して、[捺印用印鑑データファイルの計画ウィザード] で [ドメイン名] を指定して Active Directory サイト内のアカウント情報とパソコン決裁で利用するユーザ情報を共有した場合に、管理ツールは自動的に接続先のドメインコントローラに設定されたサーバ名を設定します。この際に指定したドメイン名の記述形式（短いドメイン名および完全修飾ドメイン名など）によって、組織単位およびアカウント情報を要求する実際のコンピュータ（ドメインコントローラ）が意図しないコンピュータ名（例えば、バックアップドメインコントローラや遠隔地にあるドメインコントローラなど）になる場合があります。設定されたドメインコントローラが実際の運用時に管理ツールでの表示や捺印アプリケーションでの処理に時間がかかる場合があります。

・解決方法

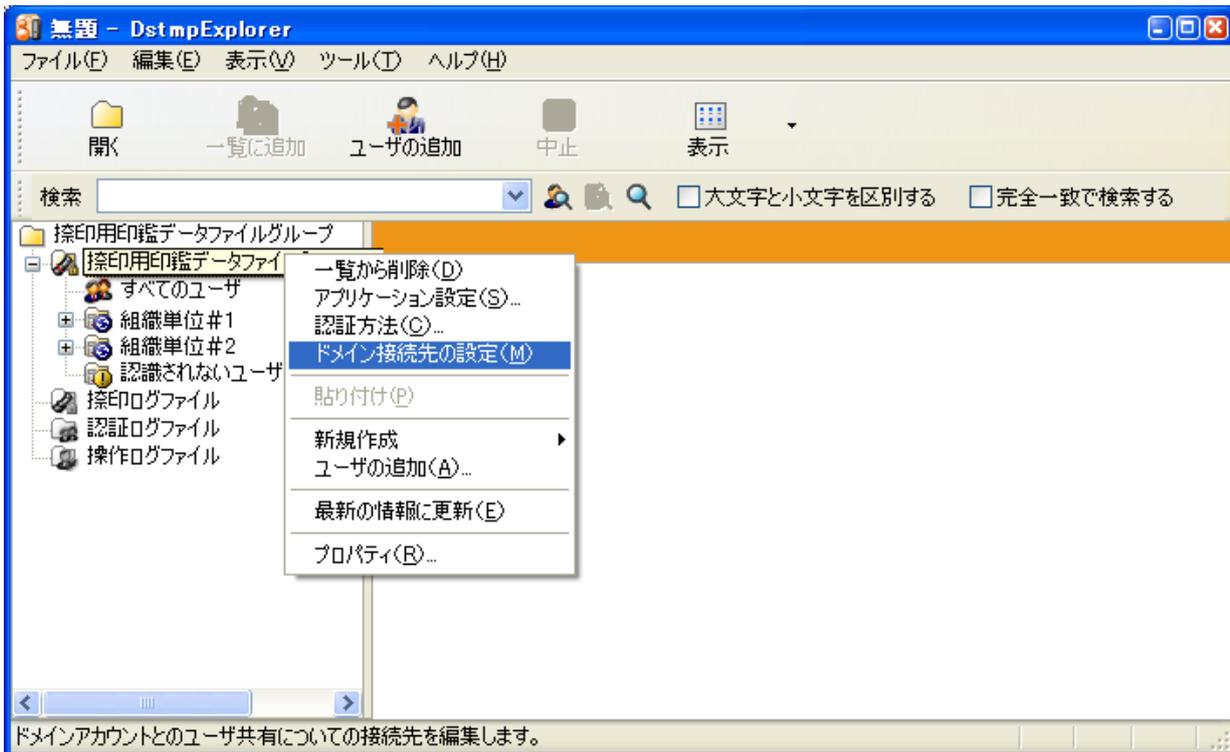
管理ツールの [ドメイン接続先の設定] を変更することによって、組織単位およびアカウント情報を要求するコンピュータ名を指定することによって Active Directory サイトへの接続時間が解消されます。[ドメイン接続先の設定] 機能を利用するには、バージョン情報が [6.1.0.46] 以降の管理ツールである必要があります。

・操作手順

1. 管理ツールを起動し、設定を行う捺印用印鑑データファイルを一覧に追加します。



- 追加された左側のツリー表示から「捺印用印鑑データファイル」を選択し右クリックで表示されたポップアップメニューから「ドメイン接続先の設定」メニューを選択します。



- 表示された「ドメイン接続先設定」ダイアログボックスで「接続先ドメイン名」と「接続先サーバ名」を確認します。



- 表示された接続先サーバ名が意図していないコンピュータ名の場合には「接続先サーバ名」リストの一覧から変更を行うサーバ名を選択します。
- 「OK」ボタンを選択します。

・影響を受けるソフトウェア

パソコン決裁 6 管理ツール Advanced Edition